

えどがわ 区議会 だより

令和5年第2回定例会号

発行
江戸川区議会



<https://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>



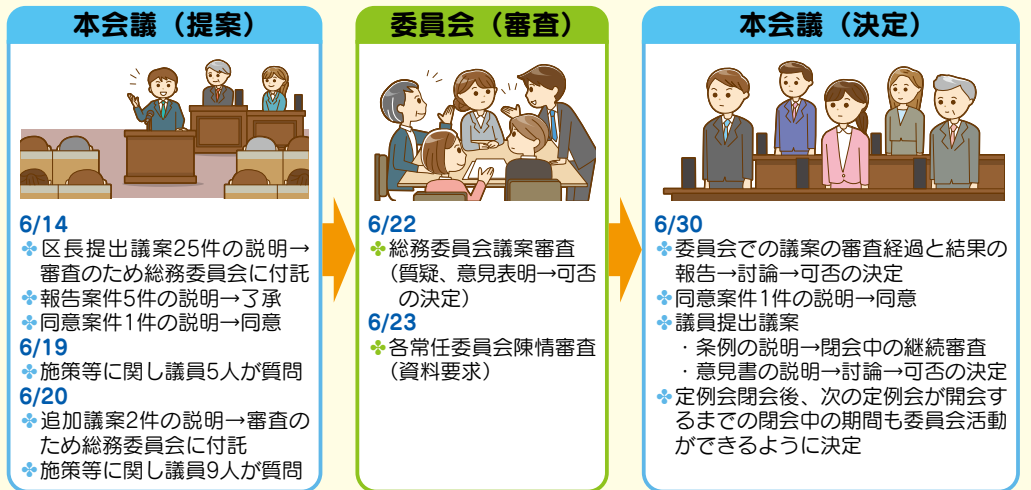
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

江戸川区議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

学校給食費無償化に伴う経費 等を含む補正予算を可決

令和5年第2回定例会は6月14日から6月30日までの17日間の会期で開かれました。

～第2回定例会の流れ～



- 14人の議員が区政の各分野における課題について質問を行いました。
- 区長から、学校給食費無償化のほか、感震ブレーカー配布事業の実施に伴う経費などを計上した補正予算を含む27件の議案、同意2件、報告5件が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。
- 議員からは5件の議案が提出され、継続審査となった2件を除き、それぞれ可決されました。意見書は各関係機関に送付しました。
- この定例会の会議録は、9月下旬にできあがります。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。

江戸川区議会の1年

江戸川区議会は、一定期間に会議を集中して行う「定例会」と「臨時会」があります。定例会は、年4回定期的に開かれ、区政の課題等を区長に質問したり、議案を審議したりします。臨時会は、定例会が開かれていない時期に、早急に決めなければならない特定案件を審議します。

定例会と臨時会では、議員全員が集まって審議する「本会議」と、少人数の議員で構成し専門的かつ詳細な審査をする「委員会」が開かれます。



定例会等が開かれていないときはなにをしているの？

定例会や臨時会が開かれていない議会閉会中の時にも、委員会を開き、区民から提出された請願・陳情等を審査しています。また、政策立案や区政の課題について調査・研究をするとともに、他自治体の施策を参考とするため、視察を行っています。

委員会とは？

区の仕事は多岐にわたるため、本会議だけでは十分に話し合いができません。区の仕事を分野ごとに分け、詳しく話し合いを行う場が委員会です。委員会は大きく分けて、5つの「常任委員会」、「議会運営委員会」、4つの「特別委員会」等があります。

議会のことをもっと知りたい方は、区議会ホームページをご覧ください！
(江戸川区議会ホームページについて、7ページで紹介しています。)



区政への質問

6月19日に代表質問、20日に一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

QRコードから各質問者の質問映像をご覧になれます。

代表質問

2期目の区政運営にどう臨むのか



自由民主党
島村 和成



問 二期目の区政運営にどのような姿勢で取り組み、「ふるさと江戸川」や「ともに生きるまち」の実現に向けて前へ進めていくのか、区長の決意を。

答 「ふるさと江戸川」や「ともに生きるまち」は本区に培われてきた理念そのものである。ヒト・モノ・カネの減少が見込まれるが、今を生きる私達には未来のために行動する使命と責任があると考え。皆さんと考え議論を一緒に行い、ともに新しい区をつくり上げたい。そのため2100年・2030年のビジョンを推進していく。更に良いまちにしていき、本区を大好きになってほしいという気持ちをしっかり持ちながら先へ進んでいきたい。

問 公約に掲げた「えどがわ50の子育てプラン」に対する思いと、中でも財政的に大きな負担となる学校給食費無償化の位置づけや考え方について、区長の所見を。



学校給食費の無償化について

答 少子化対策は待ったなしであり、50の子育てプランにはお金がかかるため公約に掲げた。給食費単体ではなく、出会い・結婚・子育ての中の1つに給食費があると考え。義務教育の一環である給食費は国が負担すべきという考えは変わらないが、国に先駆けて区が行っていく。財政状況が悪くなった場合は中止・中断も視野に入れつつ、財政状況を見据えていく。

問 防災危機管理体制の強化と大規模災害への対応力の向上を図るため、豊かな見識と経験、高い専門性を有する退職自衛官の採用を、女性自衛官も含めて検討しては。

答 自衛官として長年培った経験等は非常に有用である。特に女性視点における災害対策が必要と考え、女性自衛官の採用をお願いしており、引き続き防衛省に要望していく。

問 児童相談所で一時保護された子どもの学習指導における具体的な学習体制とその活動について。また、児童相談所は関係機関とどのような連携・協働を行っているのか。学校連携支援員の役割も含めた在籍校との連携は。

答 一時保護所では今年度から学習指導員を増員し個別学習の充実を図っている。一時保護所での学習内容や成果は在籍校に引き継いでおり、これからも教育を受ける権利を保障したい。また、区立学校と児童相談所の一層の連携のため校長経験者を学校連携支援員として配置した。校長の経験に基づく学校教育の視点から、児童相談所職員への助言や児童の面接等行っており成

果も上げている。

問 ネーミングライツ事業の導入経緯と、江戸川区球場での導入検討を。また、区内の文化施設やスポーツ施設への導入も検討しては。

答 新たな財源を得たい、施設の魅力を更に高めて地域活性化に繋げたいという思いから実施した。令和4年8月に区内全公共施設を対象に募集したところ、江戸川区球場に手を挙げた事業者がいる。今後の予定としては令和5年8月下旬頃に事業者候補者を決定、事業開始は事業者との調整にもよるが令和6年4月を考えている。これからの多くのネーミングライツで手が挙がるようにしていきたい。

問 旧中川の遊歩道では、降雨後のぬかるみや水たまりで歩きにくいとの声も多い。河川敷に沿って道路のない区間から優先順位をつけて遊歩道の舗装を行うべき。

答 自然豊かな旧中川の周囲の景観とも合っている舗装を現在検討しており、道路のない区間から試験的に順次始めていきたい。

問 教員の指導力と授業の質を向上させる、授業改善に向けた取り組みは。また、個々の学力に合わせた個別最適な学習と自学自習を習慣化させるための取り組み、学習につまずきを感じている児童・生徒への支援策は。

答 教育指導調査官の学校訪問、教育アドバイザーの数学科配置等を行っている。更には学力向上プロジェクトチームを設置し、区独自の「学びのスタンダード」を全校展開して授業改善を力強く推進する。また、学力向上に有効なツールであるタブレット端末は個に応じた学習が可能な学習支援ソフトに変更し、東京ベーシックドリル等との併用活用で家庭学習習慣の確立に繋げたい。つまずきを感じている児童・生徒への放課後補習教室は今年度から中学校に英語を追加した。引き続き放課後補習教室の効果的な活用で全体の学力向上を図り、全国学力学習状況調査における都と本区の差を早く解消したい。



給食費無償化・婚活支援 災害対策や不登校支援の強化

公明党
関根 まみ子



問 2100年の共生社会ビジョンはウェルビーイングの概念とも重なっている。今後の区政運営について、区長の思いと決意を。

答 短期的長期的な視点、あるいはどの分野でも成すべきことは、区民一人ひとりの幸せの追求だと考える。区民、議会、地域団体や法人と議論し行動できる環境をつくり、人生100年時代で幸せを感じられる区政にしたい。

問 「えどがわ50の子育てプラン」について。

①少子化対策も含めた50のプランに込められている、区長の思いについて。

②給食費無償化への思いと今後の進め方は。

③若者が将来の展望を描くことができるよう、出会いから結婚における具体的な支援について。

答 ①合計特殊出生率と出生数の減少でライフステージに合った幅広い支援が必要と感じてい

る。50のプランのうち25は既に実施、その他も早急に行えるものを今回の補正予算に計上した。スピード感を持って実施していきたい。

②経済的側面は少子化の原因のひとつと考え、国に先んじて給食費無償化を打ち出した。7月上旬に学校から保護者へ実施通知を出し、9月1日から無償化の実施を予定している。

③出会いのイベントを花火大会で東京商工会議所と連携し試行的に行う話を進めている。若い方の意見も聞いて効果的な取り組みを模索し、結婚後も住み続けたいと思える施策を考えたい。

問 今後の災害対策の強化について。

①被害者ゼロを目指し、新耐震基準を踏まえた耐震改修事業への更なる取り組みについて。



耐震改修事業への更なる取り組みについて

②大規模水害時の緊急安全確保における都と江東5区、高速道路会社との協力協定について、警戒レベル5が発令された場合の高速道路への避難のあり方は。

答 ①都による旧耐震と同等の補助を活用していき、ホームページや町会回覧等で助成制度の案内や耐震相談会を実施している。建築士事務所協会とも協働で耐震化促進に取り組んでおり、都には制度拡充等要望をしている。

②話し合いはこれからになるが、区民の安全確保のため実効性のある施策に繋げたい。

問 コロナ禍による繋がりの希薄化等の課題を乗り越えるには、多様な力を借りながら地域コミュニティ活性化を図ることが必要である。地域コミュニティ強化に向けた手立ては。

答 多言語化の取り組みやタブレットの活用、町会とそれ以外の団体との連携に力を入れている。都の地域コミュニティ活性化事業による専門機関のサポートや協力を得て、地域活動の更なる向上に繋がるよう支援を行いたい。

問 本区は今年度より教育研究所の組織強化をはじめ不登校対策を強化しているが、今後どのように不登校対策を進めていくのか。

答 都の研究指定である松江第一中では、校内別室支援やオンラインの教育相談が国から評価を受けている。この実践を他校にも広げ、不登校児童・生徒の居場所と繋がりづくりを一層強化し、繋がりのない児童・生徒をゼロにしたい。

持続可能な子育て支援 学習環境整備を求める



無所属の会
小林 あすか



問 給食費無償化の発表を受けて。

①給食費無償化について、どのような検討や議論があり結論に至ったのか。また決断の理由は。

②大きな歳出を伴う事業だが、現在維持している健全財政は、引き続き維持できるのか。

③給食費無償化には大きな歳出が生じるため、現在の歳出の見直しも必要と考える。各事業の選定、事業評価をどう判断し決断していくのか。

④歳入を増やす努力も必然と考えるが、「稼げる自治体」の方向性や新しい財源の確保は。

⑤今回の給食費無償化の負担軽減策から漏れる世帯に対し、追加の支援は考えているのか。

⑥家庭が購入している学用品も精査と見直しを。
 ⑦給食費以外の学校や教育環境について。
 1)発達に特性がある子やその傾向がある子ども達への環境整備は今後どう進めていくのか。
 2)不登校状態の子ども達の支援における今後の対策と改善について。

答 ①昨年度から慎重に検討を重ねてきた。人生のステージに合わせた子育て支援策を50のプランとし、その中の一つが給食費と考える。大きなお金がかかるため、選挙で公約に掲げ区民に信を問ひ、今定例会に提案した。
 ②基金にまわすお金の一部を使うことになる。しかし財政状況が赤字の事態になれば、中止・中断も提案せざるを得ないと考える。
 ③時代に合った施策が求められており、事業見直しは今後も提案する。対症療法でなく原因部分を考えることが歳出削減に繋がると考える。
 ④ネーミングライツやクラウドファンディング等、民間事業者の話も聞きながら活用していきたい。
 ⑤様々な意見を聞きながら検討していきたい。
 ⑥楽器等は家庭練習も想定され検証が必要である。公費購入の必要の有無については精査・研究し、なるべく保護者負担を減らしたい。

⑦1)特別支援教室の巡回指導教員による個別支援や専門家チームによる在籍校へのアドバイス、多動傾向にある子への介助員制度等、これらの制度を活用し在籍校と連携して支援する。
 2)タブレット端末による授業配信やデジタル教材の活用で個別最適な学びを提供できている。今後も様々なツールを利用し、学校内での不登校児童・生徒の居場所づくり、学びの保障、教育相談の充実を図り学校との繋がりを強化する。

問 区立小中学校や幼児施設に屋外活動時のガイドラインがあるが、学校現場での熱中症報道は絶えない。現在の熱中症対策のガイドラインも含め、現状の気候等を踏まえ再度検討しては。

答 各学校では熱中症警戒アラート等を確認しながら対策している。今後も気候状況に応じた運動会等の体育的活動の対応を研究する。

問 「水とみどりの江戸川区」という政策を受けて。

①区民1人あたりの樹木数と公園面積の更なる拡大について具体的な施策は。
 ②この政策に込められた区長の思いを。



「水とみどりの江戸川区」という政策を受けて

答 ①連合町会に公園用地を探している旨のチラシ配布等行っている。各種資料や現地調査で用地確保に努めながら公園の拡充に取り組む。
 ②郊外と差がない自然豊かな地域にしたい。

**核兵器廃絶、給食無償化継続
水族園整備に区民の声を**

日本共産党
大橋 美枝子

問 平和の課題、核兵器廃絶について。
 ①核抑止力を正当化するG7サミットの「広島ビジョン」について、区長の見解は。
 ②核兵器禁止条約の署名・批准及び第2回締約国会議へのオブザーバー参加を国に求めるべき。
 ③被爆の実相を孫子の代にまで伝えるための原

爆資料室を葛西区民館に設置しては。
答 ①②国の専管事項である安全保障に関わるものであるため、論評する立場にない。

③今年度は小松川さくら公園の旧文書庫の建物調査をし、今後の保存や活用方法を専門家の意見を伺い検討する。区内団体と引き続き協力・連携し施設活用も含めできることを相談する。

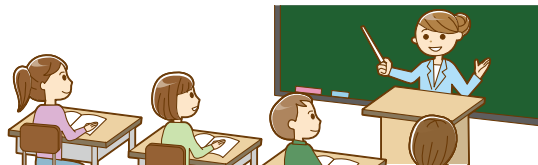
問 学校給食費無償化、義務教育の無償化について。

①給食費無償化は恒久的な実施を求めるが。
 ②社会科見学等の教育課程の実施に必要な交通費、宿泊費、教材教具も無償化の検討を。
 ③就学援助制度について、対象世帯の拡大、年収の上限、生活保護基準所得の1.25倍という認定倍率を引き上げるべき。

答 ①年度ごとに見直しをし、歳入の大幅な減少や収支赤字の場合は中止・中断を検討する。
 ②最終的に本人所有となるものは保護者の購入になるが、宿泊事業は既に補助を実施している。財政的負担も大きいので慎重に研究したい。
 ③倍率変更は大きな財政負担を抱えることになるため、必要な方に必要な援助という就学援助制度の目的を踏まえ今後の研究課題としたい。

問 教員の働き方改革の具体化、教員を増やすことに関して。

①先生が不足している原因と対応について。
 ②少人数学級推進のため、小学校全学年で35人学級の前倒し実施と、中学校での35人学級の早期実施を国と都に働きかけるべき。
 ③長時間勤務解消のため、国と都に教職員増を求めるとともに、区独自で講師の配置を。



教員の働き方改革と教員を増やすことについて

答 ①教職志望者の減少が大きな原因と考える。区教育委員会と学校では都の登録リストにある代替教員候補者等に声をかけ人材確保に努めてきた。教員の確保を国と都にも要請したい。

②国による来年度からの小学5年生の35人学級移行の推移を見守りたい。教員の定数増や教室の確保等課題も多いと認識している。
 ③長時間労働の解消や定数改善は、校長会と連携し言っている。区独自の専任講師の配置は財政面や問題点も含め慎重に対応する。

問 葛西臨海水族園の整備等事業について。

①区民・利用者向けに建て替えの情報に関するニュースの発行や説明会開催を都に求めること。
 ②樹木伐採の懸念や淡水生物館及び流れのエリアの存続の声を都に申し入れてほしい。

答 ①既に都へ情報発信の要望は伝えている。都からは今後も進捗状況は発信手段も含め適切に公表すると聞いており、都の動向を見守る。
 ②区に届いた意見は都へ伝えているが、都は可能な限り移植すると表明している。淡水生物館、流れのエリアも新水族園で展示すると発信しており、区から申し入れる考えはない。

**熱中症予防に涼み処を
夏休み明けの自死予防を**

立憲民主・国民民主
滝沢 やすこ

問 給食費無償化について、今後、国が財源を

負担する仕組みとするのが適切と考えるが。
答 義務教育の一環のため国が負担すべきという考えは変わらない。子どもの最善の利益を考え取り組むことについては同感である。

問 夏を生き延び、気候変動に向き合おう。
 ①熱中症対策の重要性の認識と取り組みは。区の公共施設で涼み処の開設を。

②台風2号の情報発信について、広域避難協議会を開催した動きや決定した方針も区民に共有すべきでは。

③子どもの自死が多い9月1日問題に対応して居場所拡大と自死予防の一層な取り組みを。

答 ①熱中症の搬送数は増えており重く受け止めている。公共施設等の暑さをしのげる場所に來てもらう等引き続き注意喚起していく。

②広域避難の発令は検討したうえで判断している。台風2号は広域避難の検討基準に達していなかったことから公表しなかった。

③共有プラザや図書館等の居場所はSNSで子ども達に周知する。今後も子ども達が相談しやすい方法を研究したい。

問 図書館基本計画の目的、計画、プロセスは。区民の意見も求めて策定を。読書バリアフリーや図書館職員の処遇も計画に入れては。



図書館のあり方と読書バリアフリーについて

答 学識経験者、書店関係者、視覚障害の団体、図書館を利用しない区民等による検討委員会で意見を聞きパブリックコメントを経て公表する。読書バリアフリーは盛り込むが、処遇改善は計画に馴染まず入れる予定はない。

問 区長が提唱する「えどがわ50の子育てプラン」において、婚姻の有無で区別しないよう、結婚せずに妊娠や出産、子育てする人も視野に入れるべき。

答 希望する方が希望を叶えられる地域にしたい。人生の選択は人それぞれで尊重され、その考えを持ちながら必要な支援を行いたい。

問 児童への性加害に関する報道への認識と具体的な取り組みについて。

答 性加害は犯罪であり、あってはならない。児童・生徒全員に悩まないで相談してほしい旨のカードを渡している。一つひとつ丁寧に支援を行い、相談しやすい環境も整えていく。

問 新型コロナウイルス感染症の後遺症への理解促進を。流行状況の把握と情報共有は。

答 引き続き週1回の医療機関からの報告で動向を把握し、ホームページでの公表と注意喚起を図る。後遺症も情報発信とともに相談窓口を設け医師会と連携した支援を継続する。

問 国際状況に鑑みて、非核平和都市宣言を。

答 平和都市宣言の中に非核は含まれており、この平和都市宣言を大事にしていきたい。

一般質問

**地域課題の解決に向け
まっすぐに取り組む**

自由民主党
しかくら 勇

問 少子化対策について。

①子育て世帯の家計支援策について、所得制限があるものが多く行政サービスを受けられないケースもある。所得制限がある施策を再検討し、その政策目的の今日的な適合性、政策効果を考慮し、事業の見直しを行うべき。

②婚姻率を高める対策として、出会いと結婚をサポートするアドバイザーを配置し、結婚を希望する人を応援する施策が必要と考えるが、区長の所見を。

答 ①国による児童手当の所得制限が撤廃されることから、乳児養育手当の見直しを図っていく。子どもの健やかな成長を目的としている制度については財政的な問題は考慮するが、所得制限なく統一していきたいと考える。

②ある統計では結婚したいが独身でいる理由1位にめぐり会いがないことがあがっている。厚生白書では約3人に2人が自治体が公費で結婚支援すべきと回答し、この流れを踏まえ本区も50の子育てプランで取り組みたい。結婚を望む方が希望を叶えられるよう、産業界とも連携し専門サポートの構築等検討する。

問 自然災害対策について。

①6月の台風2号による降雨で本区にも緊急速報メールが送られた。その1時間後に本区から影響はない旨の発信があったが、様々な関係機関との情報共有で浸水しないことは予測し得たため、区民を安心させるためにすぐに発信することが望ましかったと考える。区長の考えは。

②台風2号の豪雨のような深夜に緊急速報メールで避難を促しても広域避難は困難である。残された垂直避難を可能にする取り組みは。

③今後の河川インフラの整備、ハード面での治水事業の展望について。

④熱中症対策について、店舗やビル等に協力を仰ぎ、休憩ポイントを自治体主導でつくる取り組みを行っては。

答 ①国土交通省の速報を出す時間や文面については把握できず、速報後、東京管区气象台に予想雨量の聞き取りや中川綾瀬川水系の水位確認等で時間を要した。時間短縮には、国土交通省としっかり連携し意思疎通することが必要と考える。今回を教訓にして情報発信に努める。

②垂直避難せざるを得ない場合に備え、退避場所を130か所用意している。都や民間企業等との協定や高速道路高架部の活用に関する協定も締結し垂直避難場所を確保している。

③河道掘削や堤防耐震補強、都のスーパー堤防事業等が進んでおり、今後は江戸川水閘門の改築も行う。将来にわたり安全安心なまちに向け、引き続き国や都と連携し治水事業を推進したい。

④来年度の指定暑熱避難施設の創設に向け民間企業も指定に入れるか検討する。水とみどりの本区では、木陰でも清涼感を感じる環境も併せて守ることが熱中症対策に繋がると考える。

問 私道排水設備改築助成の大幅な改正が行われたが、更に区道と私道の境を取り除き、安全安心に通れる道路を保全していくべき。


答 私道においては排水設備改築助成の他に、アスファルト舗装、防犯灯、道路の拡幅、老朽化したブロック塀撤去の助成を含め、区道と私道隔たりなく同様に対応している。今後も安全な道路環境を提供・保全していきたい。

問 学校統合した小松川中では、平井7丁目エリアから学校まで距離があり通学に負担がかかる。遠方の通学負担への配慮と対策を。


答 国の基準を鑑みるに通学は十分に可能であ

ると考える。しかし、小学校と比べ通学区域の広い中学校において、通学距離の問題は今後統合を進める中での課題の一つと認識している。状況を注視し今後の検討課題としたい。

**災害弱者・子育て支援の充実
コミュニティ交通の推進**



公明党
堀江 そういち



問 今後の災害時要配慮者の支援について。

①4月より災害要配慮者支援課という専任課を設置したが、この目的と取り組みについて。

②災害時要配慮者支援の課題とその対応は。

答 ①福祉部、子ども家庭部、健康部、危機管理部の中に同じ組織をつくり連携して対応力を一層高めていかなければならないと考える。一人ひとりへの対応、福祉避難所の数等の課題が多くあるが、全庁を挙げて取り組みたい。

②状況把握、避難先、支援者の確保等、行政だけでは解決できない課題と認識しており、関係団体や地域の力を借りながら、誰一人取り残すことがないよう支援体制を構築したい。

問 子育ての孤立化や児童虐待防止のためにも、就労していない方でも利用できる未就学児の定期預かり保育を早期に実施すべき。

答 保育園定員の一定の確保が必要になるが、本区は利用対象となる年齢の定員がほぼ充足している状況にある。事業の必要性は十分理解しているため、条件が整い次第実施したい。

問 待機児童ゼロを達成し子育て世代に優しい本区に高いニーズのある、教育と保育の機能を併せ持つ認定こども園の現状と方向性は。

答 6園の認定こども園のうち4園が私立幼稚園、2園が認証保育所からの移行となっている。今後も認定こども園は増えると考えますが、移行は園の方針になるため、丁寧に相談に応じながら園の意向をバックアップしたい。


問 自転車用ヘルメットの購入補助事業の実施に至った経過と今後の概要について。

答 区内交通事故の自転車関与率が高いことから、都の補助を活用し補正予算を計上した。区内の事業協力店で購入したSGマークがあるものについて、1人1個最大2,000円の補助という制度構築に向け現在準備をしている。今後の補助や利用動向も踏まえ、多くの人が着用するよう制度も並行して検討したい。


問 今後のコミュニティ交通のあり方や方向性と、上一色周辺地区での取り組みについて。

答 コミュニティ交通の実証実験は令和5年6月末で終了するが、結果の分析とともに今後の方向性について地元町会と話し合いを進めている。他地域でもコミュニティ交通の要望があるため、分析結果の内容を生かしたい。

**高速7号高架下の歩道に
ガードレールの設置を**



無所属の会
神尾 てるあき



問 高速7号小松川線高架下の交通安全対策について、高架下の交差点で交通事故が多い。車道と歩道を分離するガードレールの設置や、自転車等がスピードを抑えられるようにポールを設置する等、視覚的に効果をもたらすような対

策が必要と考える。地域からの強い要望もあり、交通安全対策を早急に行うべき。

答 交差点注意等の路面表示や速度抑制の狭さく表示、ドライバーの視認性を高くするカラー舗装、見通しをよくする植栽剪定等に取り組んでいる。交通事故発生時は、交通管理者である警察と速やかに現場立合いを行い、対策を重層的に講じている。交通事故をなくすため、ドライバーや歩行者にルールとマナーを守ってもらう啓発・指導、更には当該道路の安全対策を警察と連携して取り組みたい。


問 図書館は本を借りるだけでなく、そこに滞在しながら読書や学習をする人も訪れ、地域住民の憩いの場として親しまれている。協働・交流の拠点となる新庁舎建設について、新庁舎の機能の一つとして図書館を設置しては。

答 新庁舎は行政機能の集約だけでなく、本区の魅力の一つである公園の機能をエントランス部分につくっていきたくて考えている。図書館そのものではないが、読書もできる憩いの場を設けることで、区民に開かれた庁舎を目指していきたい。


問 都立篠崎公園内にドッグランが設置されているが、現状の1か所ではニーズに応えられていない。区民1人あたりの公園面積がトップクラスである本区には、ドッグランに特化した公園があってもよいと考える。区内の公園各所にドッグランの設置を進めては。

答 自分の町会にドッグランを設置してほしいという声はなく設置場所が難しいが、新左近川親水公園東側にドッグランの整備を予定している。付近にはドッグカフェの整備や飼い主へのマナー教室を実施し、ペット連れ利用者の交流を生み出していきたい。この事例を通し、利用者の声はもちろん、地域の声もしっかり聴きながら拡充について検討したい。

**給付型奨学金、補聴器助成
の拡充、特養ホーム増設を**



日本共産党
太田 あやか



問 平井・小松川地域の特別養護老人ホーム増設について。

①平井・小松川地域に特別養護老人ホームが50床定員の1か所しかない実情について。

②学校跡地等の区有地に社会福祉法人を誘致して特別養護老人ホームの増設を。

答 ①特養は自宅から通うものでなく生活の場になるため、地域を指定してつくる考えはない。公募する際は土地も含めて提案する方式であり、地域を限定した募集はしていない。

②学校跡地の活用方法は公園を原則とし、子どもが増えれば再び学校をつくりたい。学校跡地を特別養護老人ホームにする考えはない。

問 高齢者向けの補聴器購入費助成について。

①希望者全員に支給できるよう所得制限撤廃を。

②1人あたりの助成金額の増額を検討すべき。

③買い替えにも対応できるよう5年ごとを目安に更新で再申請できるよう制度の改善を。

答 ①②③障害者手帳がある場合は障害者福祉サービスの補装具支給制度を利用し、補装具を超えない範囲で設定している。今後も他制度とのバランスも勘案しながら研究したい。

問 江戸川区独自の給付型奨学金について。

①高等教育の学費の負担が重いという認識は。


②給付型奨学金に予算を投入し、募集人数拡充と、1人あたりの支援額を1年ごとの学費の半額から全額をカバーできる額に増額すべき。

③奨学金返済に悩む多くの若者を支えるために、独自の奨学金返済助成制度の新設を。


答 ①文部科学省実施の世論調査のとおり大きな負担と認識している。経済的な理由で進学を諦めるような地域にしたいと考える。

②③国でも給付型奨学金の拡充を打ち出しているためその動向を注視し、区が担うべき奨学金のあり方について今後研究していきたい。

葛西臨海公園再開発について区の見解を問う



立憲民主・国民民主
中野 ヘンリ



問 葛西臨海公園の再開発について、地域住民の不安の声を踏まえ、都へ説明会の開催を求める等分かりやすい情報発信の要請を。

答 都には検討状況に合わせた適切なタイミングと方法で更に情報発信をするよう要望している。都からは今後も進捗状況等について、情報発信手段も含め適切に公表すると聞いているため、都の対応を見守っていく。

問 喫煙マナーやポイ捨てに関し、人々の道徳心のみで頼ることに限界を感じる。条例の罰則化等、一定のルールを設けるべき。

答 環境をよくする運動や受動喫煙防止重点区域の指定等、地域の皆さんと自分事として話し合い自主性を持って解決する考えである。罰則化は罰則がない地域では守らない危惧もあり、また罰則化する時期ではないと考える。

問 ギャンブル依存症の対策と取り組みや、区立小中学校でのネット・ゲーム依存症の予防啓発講演等の実施について。

答 相談窓口の普及・啓発を行い、関係機関と連携し依存症者の対応と予防活動に努める。また、区立小中学校全校で行っているセーフティ教室では、警察署や通信会社等の外部講師による講習の中でネットやゲーム依存の予防にあたる指導を受けている。


問 投票率向上のため、投票済証の提示で割引になる選挙割の導入等、投票済証の活用を。

答 投票済証にイラストを入れた結果、例年の5倍の反響があった。既に一部商店街等での選挙割導入は認識しているが、選挙管理委員会では公正公平な立場から取り組めない。今回の反響を検証し今後も区のキャラクター等使いSNSの発信で投票率向上に繋げたい。


問 個別避難計画の策定推進について、避難行動要支援者までいかなる要配慮者への対応は。避難所の多言語案内と今後の対応は。

答 要配慮者一人ひとりの対応は難しいため、要配慮者への情報発信は必要であり意見を聞くことが大切と考える。避難所では14言語対応の指差しボードや133言語対応の翻訳アプリを含むタブレットを置いている。今後新たな組織で更に深め意見を聞いていきたい。

子どもと家庭の支援機能、区立幼稚園、学校断熱改修



生活者ネットワーク・れいわ新選組
本西 みつえ



問 子どもと家庭の支援について。

①児童相談所の成果と課題について。

②スクールソーシャルワーカーとの連携は。

③子ども家庭支援センター機能が見えにくい状況について、どのように考え取り組むのか。

④開設から3年経ち検証のための調査を。

答 ①予防的介入、虐待に係る一体的対応ができています。人材育成が課題ですが、チーム対応やAIの活用等で組織対応力向上に努めている。

②児童相談所と学校の両方向の関係を築き、多面的で重層的な支援が可能になると考える。

③今後も相談に繋がるよう発信していきたい。

④調査については機会があればぜひ聞きたい。

問 区立幼稚園について。

①入園数減少の中、園児募集の工夫について。

②区立幼稚園の魅力向上と活用について。

答 ①②ホームページの充実等、利便性向上に向け取り組んでいる。足育や英語で遊ぶイベント等も行っており、楽しみながら非認知能力を身に付ける活動が園児数増に繋がると考える。

問 学校施設について。


①学校改築のZEB化に向けての取り組みは。

②既存校における環境性能向上の考えは。


答 ①外壁・屋根断熱の向上や高効率な省エネ設備の導入等で上位のZEB基準を目指す。

②全校の照明LED化、高効率空調への更新を進める。断熱は専門家の意見も聞き検討する。

区民の声の代弁者となり笑顔あふれる江戸川区に!!



日本維新の会
丸山 れいこ



問 学校教育について。

①コロナを経て児童・生徒に見られる変化は。

②コロナを踏まえ今後の学校教育の方向性は。

答 ①戻りつつある教育活動では笑顔が見られた。感染リスクと心身負担は今後も注視する。

②今後も学び方改革と授業改善を進めていく。

問 災害対策について。

①水害時における要支援者の避難について。

②災害時の情報発信について、改善と対応は。

③災害時のペットとの避難について。

答 ①全庁を挙げて引き続き取り組んでいく。

②15の伝達手段があり普及・啓発を継続する。

③SNS等でペットの同行避難を発信したい。

問 高齢者支援について。


①高齢者の自殺の要因と対応について。

②健康長寿のために身体と心のサポートを。


答 ①孤立等の問題がある。いのちを支える自殺対策推進センターと連携し支援充実を図る。

②多くの選択肢をつくり引き続き対応したい。

新型コロナワクチン接種本当にまだ必要なのか?



無所属
五十嵐 まさお



問 新型コロナワクチン接種の対応について。

①接種勧奨と全世帯に接種券送付の理由は。

②接種後の重篤な副反応や後遺症について。

③接種券を希望世帯のみへの配布に変更を。

④接種被害・相談状況の情報収集と公開は。

答 ①戸籍等と同様に法定受託事務として法に基づき行う。発送方法は国の見解に基づく。

②事例等は承知している。国の見解で接種を推進するが死亡者を減らしたい思いは変わらない。

③接種券の送付で選択肢を示していきたい。

④情報収集しており、予防接種健康被害調査委員会の審議数等をホームページで公開している。


問 コロナワクチン接種後に重篤な副反応や後遺症が出た方への対応について。

①本区の現在の対応と体制は。


②他自治体のような積極的なフォロー体制を。

答 ①②健康被害救済制度の説明等を行っており、今後も区民に寄り添った対応をしたい。

江戸川版「住まいの防犯対策補助金交付制度」の創設を!



公明党
所 たかひろ



問 今後高齢社会がますます進み、地域に暮らす認知症の方が多くなると考えるが、本区の認知症施策の推進について、区長の所見を。

答 認知症の進行状況で対応が異なるためその都度に合わせた対応を意識している。認知症サポーター養成講座等様々な施策を行ってきたが、今後も多くの人の意見を聞き、本人・家族にとって良い状態をつくっていききたい。

問 介護保険等でサービスを受けている高齢者が主体的に役割や生きがいを持って社会参加できることが求められていると考えるが。

答 サービスのメニュー内容についてはノウハウも必要であるため、介護サービス事業者へ実例も含めた情報提供を行っていききたい。

問 私道防犯灯のLED化について、環境面や財政面への効果と早期の推進、区内産業への支援をどのように考えているのか。

答 区街路灯のLED化は完了しており、電気代を6割削減できた。私道は区が権利者から委託を受け一括してリース事業者と契約する方式にし切り替え費用を負担する。今年度末には全ての私道防犯灯をLED化したい。

問 教員の働き方改革に関連して。

①教員の働き方改革への取り組みと効果は。

②昨年度行われた部活動のあり方における教員の意向調査について、アンケート結果の分析と今後どのように取り組んでいくのか。

答 ①「学校における働き方改革プラン」を令和3年度に改訂し、教員の長時間勤務解消に向け副校長補佐の配置等様々な取り組みをした。教員の長時間勤務は大幅に改善したが、今後も学校における働き方改革を引き続き進めていく。

②兼職兼業が可能な場合、4割は指導員として参加したいという結果であった。教員の負担を減らすため外部指導者を学校現場に入れること、合同部活動の実施等を検討したい。令和5・6年度は指導者の確保を行う中で、まずは休日の部活動の地域移行体制を整える。

問 個人宅への防犯カメラの設置は各家庭での防犯対策を後押しし、防犯カメラの拡充にもなる。江戸川区版個人宅への「住まいの防犯対策補助金交付制度」の創設を。

答 公道への防犯カメラ整備の推進で全199町丁のうち6割にあたる120町丁の設置を終えた。今後は残り4割の未設置地区に対し警察との連携で地域に働きかけ、100%の設置を目指す。個人宅への防犯対策物品購入の補助は、他自治体の実施状況を注視したい。

議案等の審議結果

議案の内容はホームページに掲載しています。右記のQRコードからもご覧になれます。



全会一致となった議案等の審議結果

Table with 3 columns: 件名, 結果. Lists 15 items under '区長提出議案' and '議員提出議案', all marked as '可決'.

Table with 3 columns: 件名, 結果. Lists 7 items under '区長提出議案' and '議員提出議案', with results '可決' and '同意'.

区長提出議案に対する議員別の審議結果はこちらをご覧ください。



6月14日議決分 6月30日議決分

意見が異なった議案等に対する各会派の態度 (○…賛成、×…反対)

※1 議長を除く

Table with 11 columns: 件名, 自民, 公明, 無会, 共産, 立国, ネレ, 維新, 無所属(50音順), 結果. Shows voting status for 11 items.

会派名：自民…自由民主党、公明…公明党、無会…無所属の会、共産…日本共産党、立国…立憲民主・国民民主、ネレ…生活者ネットワーク・れいわ新選組、維新…日本維新の会、無所属…会派に属していない議員を左から50音順に表記しています

皆さんから提出された請願・陳情

請願・陳情については、こちら⇒



Table with 2 columns: 新たに受理されたもの, 付託委員会. Lists 6 items and their assigned committees.

Table with 3 columns: No., 内容, 委員会. Lists 6 items and their assigned committees.

議員から提出された議案

— 意見書は各関係機関に送りました —



- List of 5 council member proposals regarding health insurance, child allowances, water treatment, flood relief, and school staffing.

意見書とは？

区民の暮らしに関する身近な問題でも、それが国や東京都等の仕事であるため、区の努力では解決できないことがあります。このようなときに、議会の意思を「意見書」として国会や政府等に提出し、改善を求めています。

SDGs中学生議会に向けて準備を進めています

令和5年11月11日(土)に「江戸川区SDGs中学生議会」が開催されます。SDGs中学生議会の開催に向けて、SDGs議員連盟から選出された区議会議員、中学校の先生方、国連の友Asia-Pacific等で構成する実行委員会を開催し、実施内容の調整を始めました。

今後、全体勉強会やグループワーク等を通し、これからの社会を担う中学生がSDGsへの知識を深める機会を創出していき、本番に向けた準備を進めていきます。



実行委員会の様子

総務委員会 主な議案審査内容

○令和5年度江戸川区一般会計補正予算(第5号)

・感震ブレーカーの無償配布について

委員より、感震ブレーカー配布事業について質問があり、執行部より、都が予定する木造住宅密集地域への配布対象にならない希望世帯に、特定の電気機器への電力供給を遮断できるコンセントタイプの感震ブレーカーを無償配布する。9月下旬に対象の約30万世帯へ案内文を送付し11月下旬に配送予定、区内普及率50%を目指すとの答弁があった。

これに対し、委員より、大地震発生に伴う通電火災等の被害を大幅に軽減できる同機器の有効性を周知し防災意識向上に努めること。また、今後はコンセントタイプだけでなく、建物全体の電気を一括で遮断できるタイプ機器の普及促進も検討することが要望された。

・総合文化センターの整備に係る経費について

委員より、総合文化センター整備費について質問があり、執行部より、本施設は竣工後40年経過し老朽化した空調設備等の改修設計をおよそ1年かけて行うとの答弁があった。

これに対し、委員より、改修工事に伴い休館となる際には、そこで働く方々の雇用が守られるよう指定管理者への働きかけ等を検討すること。また、本施設の改修は、近く策定予定の公共施設の再編・整備計画が示されたうえでの議論が本来のあり方であるため、今後、区の重要施設の再編・整備を行う際はその計画に沿い、民間の専門的知見を取り入れて検討することが要望された。

・学校給食費無償化への進め方について

委員より、学校給食費の無償化について質問があり、執行部より、子育て世帯に対する支援や安定的な給食の供給を目的として、7月上旬より保護者に通知等を発送し9月から無償化を開始していくとの答弁があった。

これに対し、委員より、学校給食は食育の根幹をなすものであり、無償化により給食費の未納に対応する教職員の負担軽減にも繋がることから、実施に向け着実に準備を進めていくこと。無償化後においても地産地消の推進等、学校給食の更なる充実を図ることが要望された。

○江戸川区角野栄子児童文学館条例の一部を改正する条例

○江戸川区角野栄子児童文学館の指定管理者の指定について

委員より、令和5年11月開館予定の魔法の文学館について質問があり、執行部より、当館の指定管理候補者は、類似施設の管理・運営による専門的なノウハウで魅力ある企画展示や賑わいづくりへの特徴ある提案をされる等、充実した施設運営が期待できる。入館料は市場調査結果を踏まえ700円に設定し、今年度の来館者数は約4万6千人を想定しているとの答弁があった。

これに対し、委員より、パイロクの木等の周辺環境も活用し何度も訪れたいくなる特色ある文学館にすること。また、開館当初は相当数の来館者が見込まれ、その収益を積立てて減収時に補填する等、収益の平準化についての研究とSNSによる施設PRも検討することが要望された。

区議会ホームページをご覧ください

江戸川区議会ホームページは、本区の特徴である水辺を基調としたデザインで、調べたいものを検索しやすく、より多くの皆様に議会活動に親しみをもってもらえるよう、様々な情報を随時発信しています。ぜひご利用ください。

区議会ホームページ URL <https://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>

江戸川区の写真も載せています

その日の予定をひと目で確認できます



▲区議会 HP

議会日程



「議会日程」では、本会議や委員会の予定等を月ごとにご覧いただけます。日程を更新した場合は、「新着情報」でお知らせをしています。

議会中継



本会議、予算特別委員会、決算特別委員会の様子を、生中継及び録画映像で公開しています。スマートフォン・タブレット端末からもご視聴いただけます。本会議においては、手話通訳の映像も合わせて配信しています。



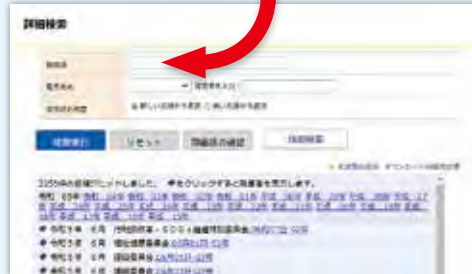
会議録の検索・閲覧



本会議、各委員会での審議内容(会議録)を公開しています。年単位で閲覧でき、詳細検索からも確認できます。



詳細検索を使えば、会議種別、期間、発言者等、より絞り込んだ検索ができます



区議会の取り組み ～SDGs 中学生議会～



「区議会の取り組み」から「SDGs」をクリックすると、江戸川区議会が行っている様々な議会活動のひとつ、SDGs中学生議会の活動がご覧いただけます。

全体勉強会の様子や、当日本番の様子の動画もありますので、ぜひご覧ください。

よくわかる区議会



小学生向け・中学生向けのコンテンツです。「区議会って何?」「区議会議員ってどんな人?」等、子ども達が楽しんで学べるように分かりやすく解説をしています。「区議会クイズ」で理解を深め、区議会を身近なものに感じてもらえるような構成になっています。

その他にも、議案や請願・陳情の審査・審議状況、審議結果、議員名簿、区議会だよりのバックナンバー等、議会関連情報の積極的な発信に努めています。今後も、議会が区民の皆様にとってより身近なものであるため、区議会広報委員会を中心となり、より見やすい区議会ホームページを目指してまいります。

江戸川区議会議員名簿

【◎幹事長 ☆団長 ○副幹事長 □副団長 △幹事】

7月18日現在

氏名	会派	電話番号	連絡所
◎：高木ひでたか	自民	5661-4608	一之江5-30-8
○：田中 寿一	自民	5679-0413	船堀3-1-3
○：野崎 まこと	自民	3869-8125	西葛西6-8-13-2F
△：しかくら 勇	自民	3616-5851	平井7-14-19
勝山 まゆみ	自民	5607-7851	松島2-8-2-101
小林 ともお	自民	5879-7000	南篠崎町2-40-7 Ⅱ列外202
金井 高志	自民	6661-4724	北葛西1-12-11 Ⅱ列外102
田島 寛之	自民	3679-1261	鹿骨1-38-15
福本みつひろ	自民	3877-0541	東葛西8-7-33
ふじさわ進一	自民	3658-0783	南小岩6-28-11
須賀 精二	自民	3679-4477	江戸川2-33-17
島村 和成	自民	090-4827-3118	平井5-51-12
☆：川瀬やすのり	公明	5636-5530	江戸川1-28-7
□：竹内 すすむ	公明	3652-6798	松江3-14-19
◎：関根 まみ子	公明	3869-0978	一之江7-11-25
○：堀江そういち	公明	3658-8597	西小岩2-17-1-603
○：中道 たかし	公明	5607-0835	大杉1-1-1-703
○：伊藤 てる子	公明	6903-7742	中葛西5-2-7-309
○：所 たかひろ	公明	3670-0334	新堀1-13-7
○：佐々木ゆういち	公明	5605-9262	北葛西5-4-15
くぼた 龍一	公明	080-1242-1642	中葛西2-26-10-1005
太田きみひろ	公明	6657-2641	平井6-33-18 テイクレ平井102

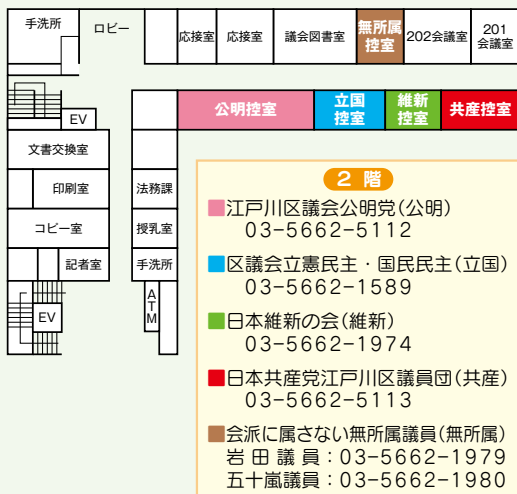
氏名	会派	電話番号	連絡所
川合 さなこ	公明	6337-0489	篠崎町2-7-1-603 Ⅰ-201M篠崎
佐野 ともこ	公明	3658-7694	東小岩3-19-17 Ⅱ列外小岩Ⅱ-Ⅰ 404
◎：小林 あすか	無会	3651-8300	一之江6-10-24
○：間宮 由美	無会	6231-5200	松江3-11-15
△：神尾てるあき	無会	5243-8311	春江町3-32-3
△：金井 しげる	無会	090-2656-9152	南小岩3-15-20
△：ます 秀行	無会	6662-7890	西葛西6-16-4-5F 株式会社工業内
◎：小俣 のり子	共産	3655-4422	中央2-7-5
○：牧野 けんじ	共産	5876-8765	東小岩5-12-18
△：大橋 美枝子	共産	5674-3753	中葛西8-6-2
太田 あやか	共産	3637-4050	平井2-17-3
◎：滝沢 やすこ	立国	5609-8111	平井2-24-3
○：中野 ヘンリ	立国	3659-1756	西葛西8-3-11-102
△：きもと 麻由	立国	6240-5850	船堀4-15-11
笹本 ひさし	立国	5668-2636	北小岩6-12-1-303
◎：本西 みつえ	ネれ	5607-5975	東小松川3-35-13-205
○：伊藤 ひとみ	ネれ	5607-5975	中葛西3-17-4-702
○：田村 ひろし	ネれ	090-3689-5133	中央4-1-13-202
◎：丸山 れいこ	維新	3676-3043	西瑞江3-22-79
○：林 あきこ	維新	070-4095-9773	西葛西7-23-10-201
岩田まさかず	無所属	090-5438-4998	篠崎町7-3-10 ボヌール・M101
五十嵐まさお	無所属	090-9812-2641	南葛西1-1-1-904

会派名：自民…自由民主党、公明…公明党、無会…無所属の会、共産…日本共産党、立国…立憲民主・国民民主、ネれ…生活者ネットワーク・れいわ新選組、維新…日本維新の会、無所属議員…会派（所属議員が2人以上のグループ）を組まない議員のことを「無所属議員」と呼んでいます。

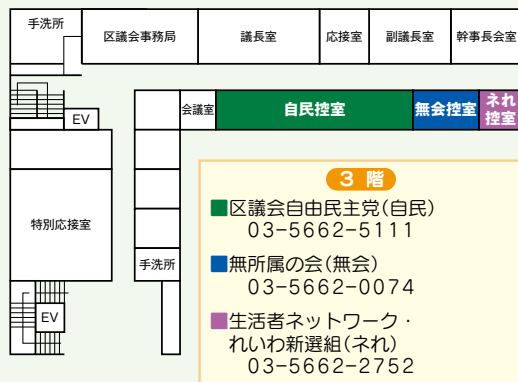
各控室案内図

議員の各控室、区議会事務局は、区役所本庁舎の西棟にあります。

【本庁舎2階 西棟】



【本庁舎3階 西棟】



【本庁舎4階 西棟】



区議会を傍聴してみませんか？

本会議及び委員会はどなたでも傍聴することができます。
傍聴は、次の時間より江戸川区役所西棟3階の区議会事務局で先着順に受付をします。

- 本会議：開会日当日の正午以降
- 午前開催の委員会：開会日当日の午前8時30分以降
- 午後開催の委員会：開会日当日の正午以降

なお、定員がありますのでご注意ください。



本会議場を車いすで傍聴される方へ
議場傍聴席には車いすスペース（定員1名）を確保しています。傍聴席までは階段があるため、キャタピラ式の車いす用階段昇降車で移動します。傍聴を希望される方は、傍聴希望日の2日前（土・日・祝日を除く）の午後5時までにご連絡ください。車いすの規格等を確認させていただきます。規格不適合等により議場の傍聴席への入室が困難な場合は、第5委員会室で映像による傍聴ができます。

【問い合わせ】区議会事務局庶務係 5662-5556



令和5年第3回定例会開催予定

- 9月20日(水) …… 本会議（議案上程、委員会付託）
- 25日(月) …… 本会議（一般質問）
- 26日(火) …… 本会議（一般質問）
- 28・29日 …… 決算審査
- 10月 2・3・5・6・10・12日 } 決算審査
- 13日(金) …… 常任委員会（議案審査）
- 16日(月) …… 各常任委員会（請願・陳情等の審査）
- 26日(木) …… 本会議（委員会報告及び表決）

※本会議は午後1時、各委員会は午前10時または午後1時30分開会予定です。詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

区議会広報委員会（◎委員長 ○副委員長）

- ◎高木ひでたか ○関根まみ子
- 小林あすか 小俣のり子 滝沢やすこ